

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち		
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします		
施策	5	公共交通が便利なまちにします	担当部(統括部)	土木下水道部

【実現している姿】

目標	市内すべての駅において移動が楽になり、安心して快適に利用できるようになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	市域全体の公共交通網が充実し、公共交通機関の利用者が増えています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
鉄道駅におけるエレベーターの設置率	目標	—	—	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%					
公共施設巡回バスの1日平均乗車数	目標	—	—	74.0人	バス路線網の見直し 77.0人	80.0人	84.0人	88.0人	92.0人	92.0人	110人
	実績	67.6人	70.9人	66.5人	62.2人	※ 56.0人					
市内循環バスの1日平均乗車数	目標	—	—	45.0人	バス路線網の見直し 47.5人	50.0人	52.5人	55.0人	57.5人	60.0人	70人
	実績	45.0人	42.0人	41.5人	38.6人	44.7人					

※ 1日5便から4便に減

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎JR千里丘駅の西口エレベーター設置						
設置実現に向け、関係機関などとの調整を図ります。						
平成27年度事業 ◇JR千里丘駅西口エレベーター設置事業0千円(都市計画課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	支障物件移設工事、エレベーター設置工事等の実施	エレベーター設置工事等の実施、設置完了、供用開始	—	—	—	
取組実績	JR西日本、鉄道機構など関係機関と協議、調整を実施し、準備工事に着手した。					
成果	JR西日本が事業主体となり、国庫補助金を活用したエレベーター設置工事を展開した。また、エレベーター設置に向けて、支障物件移設工事を完了することができた。					
次年度課題	エレベーターの管理及び橋上通路の自由通路化に向けた課題の整理が必要である。					

◎バス路線網の再編・整備						
阪急摂津市駅の新設や周辺道路状況の変化に伴い、地域や事業者と連携しながら、バス交通の路線網と機能分担を再編し、市域全体の交通網の向上を図ります。						
平成27年度事業 ◇公共交通整備事業222千円・☆市内循環バス運行補助事業12,000千円・◇公共施設巡回バス運行事業13,041千円(道路交通課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR	既存公共交通網のPR
取組実績	公共施設巡回バスにおいて平成25年8月1日より鳥飼スポーツ広場前にバス停を新設したが、走行距離が延伸したことで1日の便数が5便から4便へと減少した。					
成果	減便したことで、年間乗客数は減少したが、1便当たりの乗客数は0.2人の増加となった。					
次年度課題	ルート変更について継続して周知し、利用者数の増加を目指す。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市域全体の公共交通網の実証運行の実施と検証	市域全体の公共交通網の実証運行の実施と検証	市域全体の公共交通網の評価及び検証	市域全体の公共交通網の評価及び検証	市域全体の公共交通網の評価及び検証	市域全体の公共交通網の評価及び見直し
取組実績	市内循環バスにおいて平成25年3月18日にJR千里丘を起終点とするルート変更を行い、市民への周知徹底及び、市民ニーズの把握のため、アンケート調査を行った。					
成果	ルート変更前に比べて、乗客数が年間1500人増加した。					
次年度課題	府道十三高槻線正雀工区の側道開通に合わせ、バス事業者と協議を行い、バス停の新設を検討し、利用者の増加に努める。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

協働による公共交通の充実						
市民、バス事業者、市で組織する懇談会を設置して、バス交通全体の機能分担の再編及び利用促進を図ります。						
平成27年度事業	◇公共交通整備事業222千円・☆市内循環バス運行補助事業12,000千円・◇公共施設巡回バス運行事業13,041千円(道路交通課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	地元との協議により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討するとともに、試行期間を定めて公共交通バス等の実証運行を実施	地元との協議により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討するとともに、試行期間を定めて公共交通バス等の実証運行を実施	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び検証	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び検証	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び検証	地域ニーズに合わせた実証運行の評価及び見直し
取組実績	公共施設巡回バスにおいて、バス事業者との協議調整が整ったため、平成25年8月1日より烏飼スポーツ広場にバス停を新設し、ルート変更を行った。					
成果	公共施設巡回バスはルート変更による延伸のため、便数が減少し、年間乗客数は減少したが、1便当たりの乗客数は増加した。市内循環バスについては平成25年3月18日にJR千里丘を起終点としたルートに変更した結果、年間乗客数が増加した。					
次年度課題	公共施設巡回バス及び市内循環バスの更なる市民周知を行い、利用者数の増加を目指す。					